

**全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会参加自治体の
食品ロス削減推進計画の策定状況**

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
北海道	—	○		R12 R5	食品ロス量 15万トン 食品ロス削減のための道民の行動割合 家庭・外食時 80%
	札幌市		○		
	函館市		○		【モニタリング指標値】 R4家庭系食品ロス排出量（推計値） 年間4,202t 市民1人1日当たり47g R5事業系食品ロス排出量（推計値） 年間5,889t 事業系1日当たり16t
	室蘭市		○		
	江別市	○			
	恵庭市		○	R12	令和3年度比で令和12年度までに食品ロス発生量の6.5%削減させる。
青森県	—		○	R12	・令和12年度の一般廃棄物における可燃ごみ中の未使用食品と食べ残しの割合の合計を、令和元年度比で半減させる。 ・令和12年度までに、食品ロス問題を認知してその削減に取り組む県民の割合を80%とする。
	青森市		○		
	弘前市	○			
	八戸市		○		
岩手県	—	○		R12	食品ロス発生量：18%削減（H30年度比） 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：90%
	盛岡市		○	R8	食品ロス発生量：令和2年度比で9.3%（約554t）削減
	奥州市	○		R12	食品ロス発生量：13.9%（2,893トン） 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：80.0%
宮城県	—	○		R12	家庭系食品ロス・3.2万トン 事業系食品ロス・3.8万トン
	仙台市		○		
秋田県	—	○		R12	食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：100% 食品ロスを削減する取組の平均実施率：50% 県民1人1日当たりの家庭系食品ロスの発生量：80g 事業系食品ロスの発生量：1.8万トン
	秋田市	○		R12	・一人1日当たり家庭系食品ロス40.0g ・事業系食品ロス 2,350t
	能代市		○	—	—
	湯沢市		○		
山形県	—		○	R12	家庭系食品ロス発生量：18千トン
福島県	—	○		R12	食品ロス発生量：60,600トン 食品ロス問題を認知して食品ロス削減に取り組む県民の割合：80%
	郡山市		○	R9	食品ロス発生量 7,801t以下 （家庭系：3,680t 事業系：4,121t）
茨城県	—		○	R12	食品ロス量12.0万トン

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
	水戸市	○		R15	2033年度までに2021年度比で食品ロス発生量を10%以上削減
	筑西市	○		R11	食品ロス発生量：約4.2千t 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：95%
栃木県	—	○			
	宇都宮市		○	R12	フードドライブ参加者 1,350人
	足利市		○		
	鹿沼市		○		
	日光市		○	R9	食品ロス発生量 3,875t以下
群馬県	—		○	R12	・食品ロス発生量7.7万トン ・食べきり協力店登録数1000店舗 ・フードバンクの人口カバー率100%
	館林市		○	R14	食品ロス量：2,999トン/年 120g/人・日
	渋川市	○		R14	2032年度までに2019年度比40%削減 (目標値：3,877 ^{トン} →2,326 ^{トン})
	上野村		○		
埼玉県	—		○	R12	食品ロス量：162千t/年
	さいたま市		○	R9	家庭系食品ロス排出量6,929トン
	川口市		○	R17	家庭から排出される1人1日あたりの食品ロス量を平成12年度比で約55%削減
	所沢市		○		
	東松山市		○	R12	削減目標6g/人・日
	越谷市		○	R12	食品ロス量：6千トン
	朝霞市		○	R10	食品ロス量：1,506トン/年 ※令和4年度実績に対して35%削減
	八潮市		○		
千葉県	—		○	—	—
	千葉市		○	R14	家庭系食品ロス量：2,900トン (8.3g/人・日) 事業系食品ロス量：8,200トン
	船橋市		○	R13	家庭系： 【手つかず食品と食べ残しの発生量】6,125 t 【厨芥類のうち手つかず食品と食べ残しの割合】15.8% 事業系： 【手つかず食品と食べ残しの発生量】6,851 t 【厨芥類のうち手つかず食品と食べ残しの割合】42.1%
	松戸市		○		
	八千代市		○		
	我孫子市		○		
	鎌ヶ谷市		○		
	君津市		○	R10 R15	食品ロス発生量 1,719 t 食品ロス発生量 1,546 t
	浦安市		○		
	四街道市		○	R17	1人1日あたり食品ロス発生量：約29 g (R12年度に調査を実施し、再設定予定)
	袖ヶ浦市		○		
白井市		○	R10	1人1日あたり440 g/日・人	
東京都	—	○			
	港区		○		

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
	新宿区		○		
	文京区		○	R12	・区民1人1日当たりの家庭系食品ロスの発生量：19.4g ・区民の認知度・取組等を評価する指標 ・区内の宿泊・飲食サービス業の取組を評価する指標
	台東区		○		
	江東区		○		
	目黒区		○	R15	・「1カ月の間に食品（食材）を捨てたことはまったくなかった」区民の割合：40% ・「食品ロスに関してとても意識している」区民の割合：60% ・「食品ロスを出さないために普段行っていることとして、必要な分だけ買う」区民の割合：85% ・「食品ロスを出さないために普段行っていることとして、飲食店では食べきれぬ量を注文する」区民の割合：70%
	大田区		○	R12	2030年までに家庭系食品ロスの削減率と事業系食品ロス量の削減率を31%減(2021年と対比)
	世田谷区	○		R12	2030年度までに2000年度比半減 家庭系目標値：15,400t→7,700t 事業系目標値：25,600t→12,800t
	中野区	○		R12	・食品ロスの量：1,961トン減 ・「食べ物を無駄にしないようにしている」区民の割合：90%
	杉並区		○	R12	・家庭ごみにおける食品ロス：1,600t ・食品ロス削減に協力する店舗数：1,900店舗
	豊島区		○		
	北区		○	R16	区民1人1日あたりの食品ロス発生量・25.8g
	荒川区		○	R14	食品ロス発生量：令和14年度までに区民1人1日当たり令和3年度比で4.5g削減
	足立区		○	R12	食品ロス量を令和12年度までに、令和元年度比で21.6%減
	葛飾区		○	—	—
	江戸川区	○			
	八王子市		○	R15	【目標項目】食品ロス焼却量 【目標値】10,000トン/年
	武蔵野市		○	R14	食品ロス量を令和14年度までに、平成30年度比で19.2%減
	昭島市		○		
	小平市		○		
	武蔵村山市		○	R9	食品ロス量を令和9年度までに、令和5年度比で4%減
神奈川県	—	○	R12	・県民1人1日当たりの家庭系食品ロス量46g ・県内で発生する事業系食品ロス量15.4万トン	
	横浜市		○	R12	—
	相模原市		○	R9	家庭からの食品ロス排出量：7,900t以下
	横須賀市		○	R11	家庭形食品ロス量：6,934トン（年間）
	鎌倉市		○		

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
	厚木市	○		R8	家庭系食品ロス量（市民一人当たり）：70グラム 事業系食品ロス量：3,628トン
新潟県	—	○		R12	食品ロス量：6.2万トン以下 食品ロス問題を認知して複数の取組を 実践する県民の割合：9割
	新潟市		○	R12	食品ロス量：21,400トン
	長岡市		○	R12	家庭系食品ロス量：3,075トン以下 食品ロス問題を認知して複数の取組を 実践する市民の割合：9割超
	柏崎市		○		
	小千谷市		○	R17	食品ロス量：R6年度と比較し、R12ま でに年220t削減、R17までに年209t の削減
	妙高市		○		
	佐渡市		○		
富山県	—	○		R12	県民1人1日当たりの食品ロス量：約 78g 食品ロス削減のための取組を行って いる人の割合：90%以上
	富山市		○		
石川県	—		○	R7	美味しいいしかわ食べきり協力店： 1,650店舗登録
	金沢市	○		R12	食品ロス量：14,900トン（家庭系： 5,800t 事業系：9,100t）
	小松市	○			
福井県	—		○	R12	食品ロス量：14千トン 食品ロス削減に取り組む人の割合： 90.0%
	福井市		○	R10	市民1人1日あたりの食品廃棄物排出 量：148g（うち食品ロス排出量：30 g）
	小浜市		○	R15	食品ロスの発生量：55g/人日
	大野市		○	R12	食品ロスの発生量：627.2トン
	越前市		○（一部事務組合）	R12	令和7年度から7%減
	坂井市		○（R7）	R12	家庭系食品ロス量：約2,327t 事業系食品ロス量：約190t 令和4年度比 家庭系8%減、事業系 7%減
	南越前町		○		
山梨県	—		○		
	北杜市		○		
長野県	—		○	R12	県内の令和12年度における食品ロス発 生量に関する目標値を以下のとおり設 定。 ・家庭系食品ロス：3万トン ・事業系食品ロス：2万トン 【参考】令和5年度推計 ・家庭系食品ロス：3.6万トン ・事業系食品ロス：2.4万トン
	長野市		○	R8	家庭系食品ロス量 27.0g/人・日
	松本市	○		R12	市内食品ロス量：7,244トン
	須坂市		○		
	駒ヶ根市		○		
	軽井沢町		○		

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
岐阜県	—	○		R12	食品ロス発生量：53,200トン 食品ロスの削減に取り組む県民の割合：100%
	高山市		○		
	関市		○		
	各務原市		○	R12	食品ロス発生量：435万トン 食品ロスの削減のための取り組みを3つ以上実践する市民の割合：100%
	可児市		○	R17	10%の食品ロス削減
	郡上市		○	R12	食品ロス発生量：779トン 食品ロスの削減のための取り組みを3つ以上実践する市民の割合：100%
静岡県	—		○		
	静岡市		○	—	—
	浜松市		○	R10	家庭系食品ロス量7,734t以下 事業系食品ロス量7,584t以下
	富士宮市	○		—	生ごみの総排出量2,450トン以下
	島田市		○	R12	家庭系食品ロス量：1,354 t/年 事業系食品ロス量：2,036 t/年 食品ロス問題を認知している割合：80%
	富士市		○		
	掛川市		○		
	藤枝市		○	R12	家庭から出る食品ロス量：903トン
	袋井市		○	R12	令和2年度比1人1日あたりの食品ロス量：20%削減
	伊豆の国市	○		R13	家庭系食品ロス量：578トン以下 市民によるてまえどり実施率：40%以上
	森町		○	—	—
愛知県	—		○	R8	食品ロス量：433千トン 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：85.0%
	名古屋市		○	R12	食品ロス削減目標 R12年度までに家庭系及び事業系5%削減（R4年度比）
	一宮市		○	R12	家庭系食品ロス量：6,824トン 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：100%
	刈谷市		○	R17	家庭系食品ロス量：2,459トン 事業系食品ロス量：2,095トン 市民意識「ほとんど食品ロスを出さない」人の割合：50.0%
	豊田市		○	—	—
三重県	—		○	R12	食品ロスの削減に向けた取組を実施した市町数：全29市町
	津市		○		
	四日市市		○	R12	家庭系食品ロス：5,740 t（52 g/人・日）（8.0%減） 事業系食品ロス：2,955 t（27 g/人・日）（6.0%減） 全体：8,695 t（79 g/人・日）（7.3%減）
	伊勢市		○		—
	名張市		○		

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
滋賀県	—	○		R7	家庭系食品ロス年間発生量:2.5万トン 事業系食品ロス年間発生量:11,730トン 食品ロス問題の認知度:90% 食品ロス削減の取組を実践している消費者の割合:80% 食品ロス削減の取組を実践している事業者の割合:「三方よしフードエコ推奨店」登録店舗数300店舗 フードバンク認知度:80%
	近江八幡市	○		R13	本市の食品ロス量:1350t 令和元年度比1人1日あたりの食品ロス量15g削減
	栗東市	○		R8	市内の家庭から発生した食品ロスの年間発生量:620.6トン 食品ロスの問題を知っていると回答した人の割合:90.0% 「三方よしフードエコ推奨店」の累計登録店舗数:16店舗 フードバンクを知っていると回答した人の割合:80.0%
	甲良町		○		
京都府	—	○		R12	・食品ロス量:9.4万トン ・複数の食品ロス削減の取組を行う消費者の割合:90%以上 ・フードバンク活動の認知度:75% ・地域で食品ロスの知識等を広める人材の育成:100人 ・食品ロス削減推進計画の策定・取組を実施する市町村数:全市町村 ・食べ残しゼロ推進店舗の登録店舗割合:11%
	京都市		○	R12	食品ロス量:4.6万トン 市民1人1日当たり:87グラム
大阪府	—	○		R12	・平成12年度比で食品ロス量の半減(32.7万t) ・食品ロス削減のための複数(2項目以上)の取組を行う府民の割合を90%
	大阪市		○	R7	・平成12年度比で食品ロス量の半減(29.4万t) ・食品ロス削減のための複数(2項目以上)の取組を行う府民の割合を90%
	堺市		○	R12	食品ロス量:22,400トン
	豊中市		○	R9	食品ロス量1人1日当たり量108.8g/人・日(必達)、94.7g(高位目標)
	吹田市		○	R10	食品ロス発生量:10.2千t うち家庭系:6.2千t うち事業系:4.0千t 平成12年度比:50%減
	高槻市		○	R17	■食品ロスの削減 <家庭系> ・2030年度までに2000年度比で半減 ・2035年度までの5年間でさらに5%削減 <事業系> ・2030年度までの6年間で現況値から6%削減 ・2035年度までの5年間でさらに5%削減 ■食品ロス削減の取組を2項目以上行う人の割合 ・90%以上

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
	枚方市		○	R17	家庭系食品ロス発生量：5,349 t (H12年度比で54.9%削減) 事業系食品ロス発生量：2,540 t (H12年度比で62.6%削減)
	茨木市		○	R17	家庭系食品ロス量：3,886t (基準年度(R2年度)から20%削減) 事業系食品ロス量：6,435t (基準年度(R2年度)から30%削減) 食品ロス削減(2項目以上)に取り組む市民の割合：家庭での取組95%、外食時での取組80%
	摂津市		○		
	東大阪市		○	R17	家庭系食品ロス量：10千トン
	阪南市		○		
	熊取町		○		
兵庫県	—		○	R12	食品ロス量を216万トンまで半減させる(2000年度比)。フードドライブを実施しているスーパー等がある市町の拡大(R4年度:33市町→目標41市町)
	神戸市		○	R7	家庭系食品ロス：令和7年度までに平成25年度比でごみ排出量を10%削減することを目標としており、1人1日あたり排出量の半減(H25 33g/人・日 → R7 17g/人・日)を目安として掲げている。 事業系食品ロス：令和7年度までに平成25年度比でごみ排出量を10%削減することを目標としており、食品ロスを含む厨芥類を減量・資源化の主なターゲットとして掲げている。
	姫路市		○	R14	未開封・未利用食品の割合をR3年度比で25%削減
	尼崎市		○	R12	食品ロス量：24% (19g/人・日) 削減
	西宮市		○		
	三田市		○		
奈良県	—	○		R6	食品ロス問題を「よく知っている」県民の割合：90%
	生駒市		○		
	大淀町		○		
和歌山県	—		○	R12	①県内の家庭、事業者から発生した食品ロスの年間発生量：2.7万t ②食品ロス削減の取組を「いつもしている」、「時々している」と回答した人の割合(県民意識調査による)：100%
鳥取県	—		○	R10	食品ロス発生量 15,000トン/年 1人1日当たりの食品ロス量 80g/人・日
	米子市		○		
島根県	—		○		
岡山県	—		○	R7	家庭系食品ロス量：33千トン、事業系食品ロス量：86千トン 食品ロス削減に取り組む消費者の割合：80%以上
	岡山市		○	R7	食品ロスの削減・27,512 t/年
	倉敷市	○			
	玉野市		○		

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
広島県	笠岡市		○	R9	R4年度(2022年度)見込値の49.0g/人・日からR9年度(2027年度)に31.8g/人・日(R4年度推計値比35%削減)
	里庄町		○		
	—	○			
	広島市		○	R16	家庭系食品ロスを9,100t/年以下にする(約20%削減) 事業系食品ロスを7,900t/年以下にする(約20%削減)
山口県	—		○	R12	家庭系食品ロス量:2.5万トン以下 事業系食品ロス量:2.5万トン以下
	宇部市		○	13	家庭系食品ロス量・約2,000t、事業系食品ロス量・約1800t
	山口市		○		
	防府市		○	R8 R13	家庭系食品ロス量:730t以下 家庭系食品ロス量:680t以下
	岩国市		○		
	長門市		○		
	周南市		○	R16	家庭系食品ロス:調理くず10%削減(10.5g/人・日)、手つかず食品25%削減(7.8g/人・日)、食べ残し25%削減(5.1g/人・日)
徳島県	—		○	R12	・H29年度比で食品ロス量を30%削減 家庭系:1.9万tから1.3万t 事業系:1.3万tから0.9万t ※現状値(R5) 家庭系:1.6万t 事業系:1.0万t ・「とくしま食べきるんじょ協力店」 店舗数133店舗(R6年)から200店舗
	小松島市		○		
	阿南市		○		
	石井町		○		
香川県	—	○			
	高松市	○			
愛媛県	—	○		R7	R2年度比で食品ロス量の10%削減(5.1万トンから4.6万トン)
	松山市	○		2030	2030年度までに、2000年度比で食品ロス量の60%以上削減(2.9万トンから1.2万トンに削減)
	宇和島市	○		R8	食品ロス発生量(家庭系、事業系):2,150t 家庭系食品ロス発生量:1,155t 事業系食品ロス発生量:995t 市の災害備蓄食料の活用率:100%から継続 食品ロス削減に取り組む市民の割合:80% 生ごみ処理機等設置費補助金申請者数:基準年(2020年)同等以上継続
	八幡浜市		○		
	新居浜市	○		2030	2017年度比で家庭系食品ロス量の22%削減(2,086トンから1,627トンへ削減)
	西条市		○		
	大洲市		○		
西予市		○			

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
高知県	—	○		R12	①食品ロス発生量を4.5%削減（R5年度推計値比） ②食品ロス問題を認知して削減に取り組む県民の割合：90%以上 ③食べない食品や利用しない食材等をフードバンク等に寄附をする県民の割合：3.4%以上
福岡県	—	○		R8	食品ロス量：20.5万トン 食品ロス削減に取り組む人の割合：
	北九州市		○	R12	・食品ロス量：2000年度比で半減（24,876 t 以下） ・食品ロス削減に取り組む人の割合：80%以上
	福岡市		○	R12	・手つかず食品の量を削減 R元年度（基準年度）2.3万トン R7年度（実績）1.6万トン R12年度（目標年度）1.5万トン
	筑後市		○		
	大野城市		○	R12	【家庭系】 生ごみ排出量4,135 t / 年 排出削減量目標12 t ※食品ロス及び生ごみ削減目標 【事業系】 食品ロス（可食部）2,166 t / 年 排出削減量目標182 t
佐賀県	—		○	R12	・食品ロスを意識して食品ロスの削減に取り組む人の割合：90% ・家庭から排出される県民1人1日あたりの食品ロス量（推計値）：減らす ・「食でつながるネットワーク協議会」に食品を提供している提供者数：10者 ・県内のフードバンク活動団体や「食でつながるネットワーク協議会」を知っている事業者の割合：80% ・市町における食品ロス削減推進計画策定率：100% ・九州食べきり協力店・応援店登録数：増やす
長崎県	—	○		12	・1人1日あたりの食品ロス発生量：89.4g/人・日 ・食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：96%以上
熊本県	—	○			
	熊本市		○	R12	H12の食品ロス発生量（57,326t）から半減
	八代市		○	R9	家庭系食品ロス発生量：2,032 t 以下 食品ロス削減に取り組んでいる人の割合：90%以上
大分県	—		○	R12	県内の食品ロス量を2030年度に2000年度比で半減 家庭系食品ロス量：23,762t 事業系食品ロス量：20,111t
	大分市	○		R12	市内の食品ロス量を2030年度に2000年度比で半減 2030（R12）：18,177t
宮崎県	—		○	R12	食品ロス（家庭系）17,700 t 食品ロス（事業系）23,000 t
	宮崎市		○	R16	1人1日あたり家庭系食品ロス発生量：56.1g（16%減）
	日向市		○		
鹿児島県	—		○	R12	食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：80%
沖縄県	—	○			